

第3回会社訪問【(株)有田製作所、(有)植田製作所】

11月26日 於 (株)有田製作所

(株)ヤスタモデル 安田 一真

今回は、(株)有田製作所様と(有)植田製作所様との合同での開催となり、先輩会員31名と多くの方にご参加頂きありがとうございました。

また今回の会社訪問を快くお受け頂いた有田社長様、誠にありがとうございました。「それぞれの立ち位置・視点・視線・環境の違い・・・」をテーマと題して小企業、中企業の悩みの違いを腹を割って話しあえるようにしたいと委員会で思いを固め例会を迎えました。

工場内の段取りなどをご存知無い有田さんは制服に着替えることから・・・当初例会について断り続けておられた植田さんは先輩の一言から・・・第3回会社訪問はスタートし、お二人と委員メンバーとの熱い腹割を幾度も重ね例会を迎えました。

1部では、有田さんは1階から3階までの工場見学、フロアごとに分けられたシステムとマンションの様な社屋に非常に細かく繊細な部品とMC技術の数々、コンピューターによる在庫の管理システムに皆さん関心をされていました。

一方、植田さんは事前に撮影(編集)したビデオに植田さんの説明で15分間の会社案内をして頂きました。映像では、植田さんご本人が出演され社内を案内して頂き1階から3階まで工場を見せて頂きました。会員の中には懐かしく思われたご様子の方もおられ、元キセイレン会員の植田社長のアイデアと思ひも伝わった内容だったのではないのでしょうか。

2部では、会社紹介から始まり、お二人の立場と視点から語って頂きました。

有田さんは、創業から50年という歴史の中での3代目として(株)有田製作所に入社され2年目。交流を深めるために企画した会社での飲み会は、社員同士の会話もない宴会。8年間社外での社会経験ではなかった雰囲気困惑し悩んでおられました。少しでも社員のモチベーションアップになればと想い「機青連会員内での会社訪問をして、昼ごはんをみんなで外食したい！」という想いから、毎週2～3人で会社訪問を実行されてきました。

また、植田さんは大学卒業後、現社長が創業され2代目として(有)植田製作所に入社し4年目、工場内の仕事や対外的な事で自分が半人前だと承知だが、想いと考えを社長にぶつけていたが社長の機嫌を損ね雰囲気が悪くなるなら、とあきらめ癖が付きモヤモヤを溜め込み続け、嫌なことから逃げる自分になってしまい、委員会では悔しさのあまり涙を流しながら、話をして頂きました。今では社長と会社のこれからについて本音で話をされているそうです。

お二人は、今までなかなか人に話す事が出来なかったことを包み隠さずお話してくださいました。

その中、先輩方、同期の仲間の方から沢山のご意見と多くのキーワードを頂きました。

有田さんには「モチベーションUPは経営者の一生のテーマ」「会社の夢を語る事がモチベーションUPじゃない?」「褒める!ありがとう!の言葉が社員のやる気に繋がる!」「2:6:2の法則、10人の会社であれば2人は意見に賛成、6人はどちらでも、残る2人は反対意見になるもの。」ご参加頂いた先輩方のご意見をお聞きし、「会社訪問を通じて、人一倍の努力と夢と熱い気持ちを語りたい。」と意気込んでらっしゃいました。

植田さんに対し、「今の会社からチェンジするための過程であると思う、ニュー植田製作所のための社長の愛のムチでその逆風は社会の厳しさを表した、社長の愛ではないか?」「二代目は羨ましい、自分の言いたいことを

言う事が出来る、社員ならクビや。」「二代目は大変や、一代目は突っ走るだけ二代目はその気持ちを上まわらなければならない。」など、たくさんの励ましの言葉とご意見を頂くことが出来ました。

今回の会社訪問を通じて、有田さんは社員との糸口が見えコミュニケーションが増え、植田さんは社長や対外的にも逃げずに向かい合い、お二人の立ち位置や環境は違えども一歩ずつよき経営者となるべく歩んで行かれることと思います。ご参加下さった会員皆様にとっても、自社に当てはまる事や心を打たれ胸に染みる思いがあったことでしょう。深く考えさせられることもあったことと思います。長時間に渡りご参加頂いた皆様、誠にありがとうございました。

最後に、有田さんと植田さんからの感想お礼メールを以下に紹介致します。

株式会社有田製作所の有田です。

11月26日は弊社にお越し頂き、誠にありがとうございました。

工場内見学では狭く、足元が油で滑りやすい所で御迷惑お掛けしたことをお詫び致します。

私の悩みに対し、御参加いただいた方々に真剣になって耳を傾けていただき、先輩方にも御自分の経験をふまえた善きアドバイスを頂き、本当にありがたく、機青連に入会して本当に良かったと思いました。

これからの私にとって「人一倍努力をする」「会社をどうしていきたいか、熱く語る」「社員に感謝の言葉を掛ける」これを実践していきたいと思います。今回お話を聞けなかった方にも今度は私が皆様の会社を訪問させて頂き、引き続きご意見いただきたいと思いますのでその際はよろしくお願い致します。今回は誠にありがとうございました。株式会社有田製作所 有田 一繁

植田製作所 植田です。

先日はお忙しい中、たくさんの会員様、先輩方に参加して頂き本当にありがとうございました。

自分でも分かっていた事ですが、会員様、先輩方のご意見を聞き、改めて「自分はまだまだ甘い、経験が足りない、」という事を痛感いたしました。

中でも、他社に勤めていない自分の責任ですが、「社長と本音でぶつかれるなんて、うらやましい事や！！」「親子関係無い会社ならクビやで！」という意見を頂いた時、心に刺さるものがありました。

認めてもらえない社長が悪いのではなく、認めてもらえるように努力していない自分が悪い。と気づきました。今日からは新たに日々精進しようと思います。本当にありがとうございました。(有)植田製作所 植田 晃史

